

# かしわ



No. 8



## 「人間力」を育む

校長 北村 耕一

6月28日(日)に、横須賀市聴覚障害者親の会主催の講演会に参加しました。当日は、本校の保護者・児童、通級生の保護者、親の会の皆様、手話通訳士の皆さん、他市町からの参加者、本校教職員等40名近い方が講演を聞きました。

講師の橋本一郎氏の講演の後、聴覚に障がいのある大学生2名が自分のこれまでの人生について講演してくれました。

お二人は、21年間の人生で「体験」した様々なことを話してくれました。私はお二人がしっかり「自己認識」をしたうえで、自分の「将来」を考えて、現在とこれからの人生を歩んでいるように思いました。

橋本氏は講演の中で「未来を変えれば、過去は変わる」という話をされました。そしてこの言葉を多くの聴覚に障がいのある子どもに話しているそうです。

子どもの未来を変えるために、私たちが行うことは何か…私の脳裏に浮かんだのは「自立」という言葉でした。

特別支援学校の教育課程には「自立活動」という領域があります。この「自立活動」の指導は、「幼児児童生徒の人間として調和のとれた育成」を目指しており、「障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けること」を目的としています。

講演会を振り返り、2名の大学生は「自立」した人間としての道を着実に歩んでいると思いました。そして、本校の子どもに限らず「自立」した人間の育成が、これからの社会で「生きる力」→「生き抜く力」を身につけた人間の育成になるのではないかとも思いました。

タイトルで使用した「人間力」という言葉を新聞等でも目にした方も多いと思います。インターネットで検索したところ、東京大学教授の市川伸一氏

平成27年7月3日 小学部の七夕飾り。

は「人間力に関する確立された定義は必ずしもないが、(中略)社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力と定義したい」と述べています。

また、「人間力」について調べてみると、「①基礎学力（主に学校教育を通じて修得される基礎的な知的能力）、専門的な知識・ノウハウを持ち、自らそれを継続的に高めていく力。また、それらの上に応用力として構築される論理的思考力、創造力などの知的能力的要素。②コミュニケーションスキル、リーダーシップ、公共心、規範意識や他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力などの社会・対人関係力的要素。③知的能力的要素および社会・対人関係力的要素を十分に発揮するための意欲、忍耐力や自分らしい生き方や成功を追求する力などの自己制御的要素」と書かれていました。

本校の「自立活動」を含め「生きる力」を育む学校教育は、「人間力」の育成につながるものだと思います。6月28日の講演会は、そうしたことを再認識することができた貴重な「体験」でした。

## 難聴児理解研修会の報告

総括教諭 石川 弘義(支援部)

小学校の通常級に在籍している難聴児童への理解と支援を目的として、6月9日(火)に逗子市立沼間小学校の教員(約30名)を対象に、難聴児理解研修会を行いました。

研修の内容としては、①難聴児の困り感について ②難聴疑似体験 ③具体的な支援方法 という流れで行いました。

①難聴児の困り感については、「難聴児の聞こえ方」を話した後に、その事から生じる困り感「言語獲得・聞き取り・社会性における困難」の共通理解を図りました。集団の中で学ぶ

児童に対して一番大切なことは、環境面を整えることはもちろんのこと、「自己肯定感を高めること」や「障害を共有する仲間・教員がいること」だと伝えると、とても理解を示していました。

②難聴疑似体験では、4グループに分かれ、一人の方に一定音で話し声が流れたヤホン(マルトカバ)を付けてもらい、あるテーマについてグループで話し合う場面を設定しました。疑似体験後の先生方の感想では、「聞こえる部分と、聞こえない部分があり、最終的に何を話しているのか分からずどうでもよくなった。」「みんながどうして笑っているのか分からず、孤立した気分だった。」等、様々な声が聞かれました。

難聴児の心理等を体験した後、③授業での具体的な支援方法(話し方・教材提示の仕方・子ども達への理解授業など)を話しました。

このような研修を通して、難聴児の障害が多くの方に共通理解され、子ども達の学校生活が充実するようになることを切に願います。今後、有意義な研修会を開催できるように、工夫しながら取り組んでいこうと思います。

## 横須賀ろう学校 H27夏季の取り組み

今年も横須賀ろう学校では、夏季休業中に多くのことに取り組みます。

### ☆「サマースクール」

対象者は、在校生・保護者・兄弟姉妹、卒業生、通級生・保護者・兄弟姉妹、教職員・家族です。申込みの締切は、7月13日(月)です。

(④の「漢字検定」の締切は7/10です)

各講座ごとに材料費等が異なりますので、詳細は案内をお読みください。

- ①「BOXライト作り」7/28(火)10:00～11:30  
募集人数：10名位、会場：3階視聴覚室
- ②「ブックマークを作ろう」7/30(木)10:00～11:30  
募集人数：20名位、会場：2階 図書室
- ③「サーッ!卓球を楽しもう」8/7(金)10:00～11:30  
会場：体育館
- ④「漢字検定に挑戦しよう」8/20(木)10:00～11:00  
募集人数：15名位、会場：3階視聴覚室

### ☆「みんな集まれ」

参加対象者は、三浦半島(三市一町)・鎌倉市に在学・在住する聴覚障がいのある幼児・児童・生徒、保護者(兄弟姉妹の参加も可)です。参加費は無料です。

日時：8月1日(土)9:00～12:00(8:50集合)

場所：本校 体育館

内容：三枝 浩基氏(陸上競技選手)による講演等

持ち物：飲み物、着替え、体育館履き、運動靴、帽子、筆記用具。

### ☆教職員向けの研修

### 「聴覚障がい理解研修会」

昨今、補聴器の進化や人工内耳の普及によって、通常級に在籍して学ぶ「聞こえにくい子ども」が増えてきています。

本校では、聞こえ方による困難さが見えにくい軽度・中等度の聴覚障がい児童・生徒たちの理解と支援を進めるために、この分野で先進的な実践・研究をされている講師をお招きして、研修会を実施しています。

1. 日時 8月21日(金)  
13:00～16:45(12:30受付開始)
2. 場所 横須賀市教育研究所3F第1研修室
3. 内容 ①講演会  
②分科会
4. 講師 藤本 裕人 先生  
(国立特別支援教育総合研究所  
教育支援部上席総括研究員)

※申し込み締め切りは、7月31日(金)

☆小学部の新倉先生が出産のための休暇に入りました。

7月1日(水)より、小澤 菜摘  
教諭が着任いたしました。

よろしくお願ひします。



横須賀市立ろう学校

〒238-0023 横須賀市森崎5-13-1

TEL 046-834-1172 FAX 046-834-0096

Eメール admini@rou-sd.yknet.ed.jp

学校HPも更新しています。ご覧ください。



